

平成30年度 学校だより



北醍醐9月号



平成30年8月31日
京都市立北醍醐小学校
校長 城野 健司
TEL: 075-572-5353

<学校評価アンケート結果特別号>

この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収等へ！



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
子どもと共に育む京都市民憲章を実践しましょう！

『学校教育目標』

**お互いを認め合い 自ら考え主体的に行動する
心身ともに健康な子**

～やさしく かしこく たくましい子～

〈目指す子ども像〉 自分も仲間も大切にする子ども
自ら学び、考え方行動する子ども
自らを律し、正しく行動する子ども

平成30年度第1回「学校評価アンケート」に
ご協力いただきありがとうございました。
結果をご報告いたします。

本年度も、子どもたちの健やかな成長と確かなまなびを実現するため、本校教育活動について第1回目の学校評価アンケートを実施させていただきました。児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせく実現度として示させていただきます。

これからも、信頼される学校づくりを進め、北醍醐の子どもたち一人一人がのびのびと成長し、安心して自己実現をしていけるよう努めています。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ＜今後も伸ばしていきたいこと＞
* 安心して楽しく学校に通っている。
* 友だちと互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。
* 学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。
* 下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。



＜さらに

取り組むべき課題
* 自分から読書したり本を使って調べたりしている。
* 「15分×学年（5・6年生は、60～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。

	児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
1	学校に行くのは楽しい。	91.9%	お子さんは、安心して楽しく学校に行っている。	96.8%	「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	100.0%
2	友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	93.5%	お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	98.1%	互いを大切にする子どもの育成のため、「自分から挨拶」「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」を指導し、児童の身についてきている。	93.8%
3	自分からあいさつし、学校の掃除をすすんでしている。	90.3%	お子さんは、家や地域で進んであいさつしたり、学校での出来事を話したりしている。	84.7%	進んで挨拶・掃除をするような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	93.3%
4	困ったときや分からないときは、先生に相談している。	77.0%	学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	92.2%	子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	92.9%
5	授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	85.8%	お子たちからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	88.0%	ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	91.7%
6	学校や家で、自分から読書したり本を使って調べたりしている。	75.1%	お子さんは、自分から読書したり本を使って調べたりしている。	59.4%	読書や図書室活用を指導し、家庭学習に読書活動を位置づけて取り組んでいる。	66.7%
7	家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	79.3%	お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	68.4%	授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習改善に取り組んでいる。	81.8%
8	学校のきまりや交通のルールを守っている。	94.5%	お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	93.9%	きまりやルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	93.8%
9	毎日、決まった時間に早起きをし、顔をあらはして歯みがきをし、朝ごはんを食べ登校している。	83.8%	お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べると基本的な生活習慣が身についている。	90.6%	基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	100.0%
10	学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	97.1%	学校は、安全面における適切な配慮をしている。	94.2%	ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	71.4%
11	下級生に優しく接することや、自分が上級生になついくことに楽しみを感じる。	90.6%	お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	96.1%	児童は、縦割り活動を中心には仲間に大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	100.0%

項目ごとの分析を、以下にお示します。

*数字は項目番号、下線部は各項目カテゴリーを示しています。

＜お互いを認め合う子【豊かな心】＞

1. 子どもは、楽しく学校に行っている。

児童、保護者、学校の3者とともに実現度が9割を超え、充実した学校生活を送ることができていると考えられます。「楽しく行っている」と思えない児童の思いをしっかりと受け止め、すべての児童が安心して毎日学校に通い、学校生活の中に自分のやりがいを見つけられるよう支援していきます。

2. 子どもは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。

3者ともに実現度が9割を超え、友だちとの関わりを大切に学校生活を送っている様子がうかがえます。子どもたち同士で築く望ましい仲間意識を大切にしながら、一人一人の困りに寄り添えるよう見守っていきます。

3. 子どもは、家や地域で進んであいさつしたり、学校での出来事を話したりしている。

あいさつや自発的な掃除の実践については、3者の意識に差が見られました。学校内と学校外など、場面によって行動に違いがあることがうかがえます。引き続き、あいさつや自発的な掃除の実施の大切さについて子どもたちが実感できるような働きかけを続け、子どもたちが家庭で話したくなるような興味深い教育活動を実践していきたいと考えます。

4. 学校は、気軽に相談でき、適切に応じている。

本項目については、実現度に児童・保護者間で差が見られました。子どもたちは、学年が上がるにつれ、身の回りで起こる困りごとを自分の力で解決しようとする姿が多くみられるようになり、解決した時の子どもたちの成長を頼もしく感じる面もありますが、一人一人の悩みや困りごとを敏感に察知し、自分の思いを語りやすい学校、困ったときに頼りになる教職員でいたいと考えています。また、学習内容でわからないところは、気軽に「わからない。」と伝えられる学級づくりを、これからも進めています。

11. お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。

3者ともに9割を超え、学年を超えた仲の良さがうかがえます。これからも、登校班やたかつか活動など、異学年との交流を大切にし、「お手本になる高学年」「リーダーを支える低学年」を目指して取組を進めていきます。

<自ら考え主体的に行動する子【確かな学力】>

5. 子どもは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。

3者とも8割を超え、良好な結果と考えられますが、一人一人の児童の学習状況を把握し、すべての児童が見通しをもって主体的に学習に臨み、自分の力を發揮できる授業づくりをさらに研究していきます。

6. 子どもは、自分から読書したり本を使って調べたりしている。

3者ともに実現度が低く、不十分な状況がうかがえます。読書活動の大切さや面白さを実感できる取組や読書環境の整備について、これからも検討を続けます。学校外でも、本に親しむ機会を増やしたり、自主学習に本を使った調べ学習を取り入れたりするなど、子どもたちの読書活動をさらに充実したものにできればと思います。お力添えいただきますようお願ひいたします。

7. 子どもは、「15分×学年」の家庭学習（宿題）の習慣がついている。

6. の項目同様、実現度は低い結果となりました。毎日の「宿題」については各学級で熱心に取り組んでいる様子が見られるので、「15分×学年」の時間内の集中力や「宿題以外の自主的な学習」の実践にあることがうかがわれます。何のために学習するのかを具体的に考えたり、数年後の自分の姿を思い描いたりする機会を大切にし、子ども自身が自発的な学習の大切さを実感できるように取り組みます。ご家庭でも、宿題のチェックや励ましのお声かけなどご協力をお願いいたします。

<心身ともに健康な子【健やかな身体】>

8. 子どもは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。

10. 学校は安全面における適切な配慮をしている。

ほぼ9割を超える良好な結果となりましたが、教職員は「ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている」という点において、不十分を感じている結果となりました。安全管理は、学校生活において最優先されるべき事項です。状況に応じた適切な行動がとれるようこれからも指導を続けていきます。

9. 子どもは、早寝・洗顔・歯みがき・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身についている。

児童の実現度が8割強でした。就寝までの過ごし方や生活リズムを見直し、自分自身で1日の生活パターンを考えられるように、ご家庭でもご支援をお願いいたします。

～学校生活全体に関わる貴重なご意見をいただきました～

《環境や安全面でのご意見》

教育環境面でご意見をいただきました。地震の際は、児童引き渡しに即座に対応していただきありがとうございました。安全を第一に、よりスムーズな引き渡しができますよう訓練を実施し、緊急時に備えます。

北校舎南側のグリーンカーテンは、毎年春から夏にかけて理科の学習でツルレイシやヘチマなどを栽培し観察しています。2階・3階まで夏の日差しを遮るような青々とした美しいグリーンカーテンに育て上げるのは難しく、また秋～春の使用していない期間も長いのですが、児童の学習のためにご理解いただきますようお願いいたします。老朽化してきた施設に関しては、優先順位を決め教育委員会に申請し、可能なところから修理・改修を進めてまいります。いただきましたご意見やご感想を参考に、子どもたちが気持ちよく安全に活動できるよう努めてまいります。

《指導に関するご意見》

言葉遣いやあいさつについてご意見をいただきました。本校児童は、見守り隊の方々や毎水曜の朝に付き添い登校をして下さる地域委員の皆様をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様に愛され、見守られて学校生活を送ることができます。そのような温かいご支援をくださっている方々への感謝の気持ちを表すことができる身近な方法の一つに、あいさつがあり、正しい言葉遣いがあります。学校でも、全校集会や学級指導であらゆる機会にあいさつの大切さを子どもたちに伝えているところではありますが、場面によって気持ちのよいあいさつができるない状況が見られることは大変残念に感じています。これからも、あいさつや正しい言葉遣いが相手を尊重し大切にすることにつながるということとともに、元気なあいさつや正しい言葉遣いができる気持ちよさや清々しさについて、伝え続けていきたいと思います。

部活動の支部交流会につきましては、多くの部活動で開催日が重なり、昨年度参加人数に満たずして残念ながら試合に出ることができない種目がありました。子どもたちがめあてや目的を意識し、意欲をもって活動できるよう支援してまいります。

《学校行事に対するご意見》

学校行事についてお考えをいただきました。特に修学旅行先に関しては、費用に上限が設けられています。その中で有意義な修学旅行となるようこれからも計画してまいります。また、他の学校行事に関しては、授業時間数を保障し、学習内容との関連を踏まえて実施していきます。

《ご質問》

放課後の運動場に関しては、特別な行事等がないときは開放（遊べるように）しています。約束（遊んで帰る日はあらかじめおうちの人人に伝えておく、バットや軟球は使用できない等）や時間を守り、自由に遊び楽しんでほしいと思います。

その他にも、お褒めや激励のお言葉を頂戴しております。貴重なご意見をくださいましたことに感謝申し上げます。有難うございました。